

佐藤クリスタル

国際交流員コーナー

CIR's Corner

2024年11月 - 第30号



皆さん、こんにちは！江別市国際交流員の佐藤クリスタルです。「国際交流員コーナー」とは、私が毎月作成する国際交流や多文化についての記事です。様々な興味深い国際的なテーマを紹介します。

今月のテーマ：選挙の日

10月27日に、日本では衆議院議員総選挙がありました。今月の5日にアメリカでは大統領選挙があります。候補者は、民主党のカマラ・ハリス氏と共和党のドナルド・トランプ氏です。大統領選挙が行われるとともに、下院435議席、上院100議席のうち34議席が改選され、また、13の州と準州の知事選挙やその他の州と地方選挙が行われます。私はアメリカ人なので、最近周りの日本人に選挙について色々聞かれています。かなり複雑なテーマですが、よくある質問に対して、できるだけわかりやすく回答します。

Q: 日本から投票できますか？

A: はい、投票できます。

アメリカでは、「不在者投票制度」があります。海外に住んでいても、アメリカ人は連邦選挙に投票する権利があります。海外から州と地方選挙に投票できる州もあります。投票の仕方は州によって異なりますが、基本的に郵送、ファックス、またはメールで投票できます。

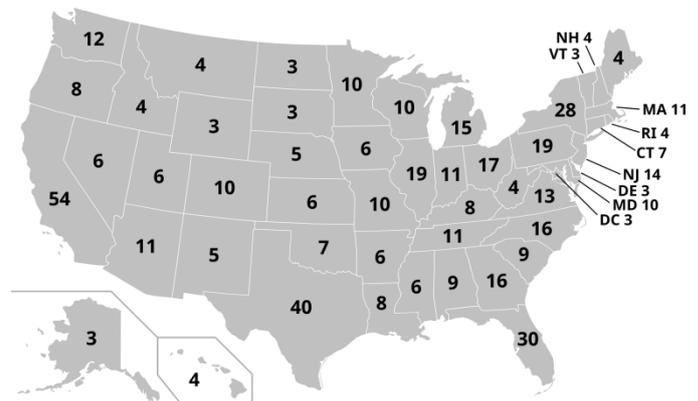
私の出身地、ワシントン州の投票の流れを説明します。まずはアメリカの不在投票者向けの公式サイトで登録しました。数日後に、私が最後に住んでいた住所を担当している選挙事務所からメールが届き、郡の公式投票サイトのリンクが入っていました。アクセスすると、氏名、生年月日、現在の住所などの個人情報を記入し、それから大統領、上院議員、下院議員、州の知事などをオンラインフォームで選びました。州やシアトル市の様々な投票法案に対して賛成か反対かも選択しました。必須項目を入力し

たら、手持ちのプリンターで投票用紙を印刷しました。投票2枚と宣誓書と署名1枚、全部で3ページでした。署名したら、スマホで投票用紙の写真を撮りました。最後に、添付ファイルとして選挙事務所にメールしました。数日後、「投票がカウントされました」という確認メールが来ました。これで、私は無事に投票完了となりました。

Q: 大統領は一般投票で当選されますか？

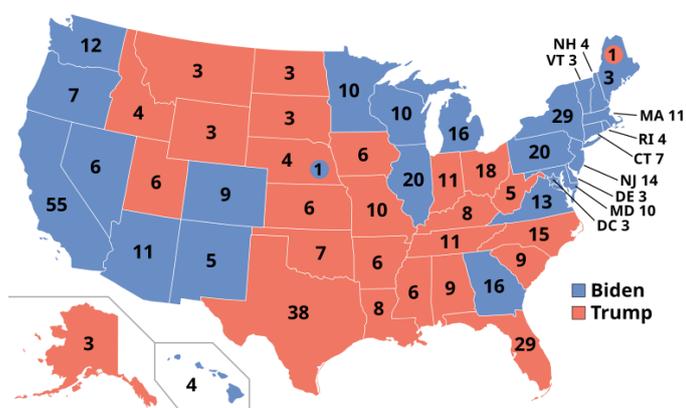
A: いいえ、「選挙人」に当選されます。

アメリカ国民はふさわしいと思う大統領候補に投票しますが、最終的に誰が当選されるかを決定するのは、「選挙人」です。州によって選挙人の数が異なりますが、その州の上院議員の数+下院議員の数=選挙人の数です。上院議員は、各州に2人ずつで、下院議員は州の人口によって割り当てられるので、人口の少ない州は最低3人の選挙人が配当され、人口が多ければ多いほど、選挙人の数が増えます。そして、首都のワシントンD. C. は州ではありませんが、3人の選挙人がいます。



2024年大統領選挙の各州の選挙人数。ワシントン州は12人の選挙人が割り当てられます。最も多い州は、カリフォルニア州です。54人が配当されます。

では、選挙人はどうやって大統領を決めるのでしょうか？各州で大統領選挙を行います。投票用紙に大統領候補や副大統領候補の名前が記載されていますが、実は、大統領ではなく、大統領候補の政党に選ばれた各州の選挙人団に投票しています。基本的に、一般投票で最も多く票を集めた大統領候補が、その州の選挙人をすべて獲得します。つまり、「勝者総取り」となります。(メイン州とネブラスカ州は例外で、州全体での最多得票に2人、下院選挙区ごとに最多得票に1人ずつという方式で選挙人を与えるので、選挙人が分かれることもあります。) 全国合計は538人の選挙人がいます。その半分以上、270票が勝ちです。



2020年の選挙結果。青い州はバイデン氏、赤い州はトランプ氏が勝利しました。選挙人は、バイデン氏が306票、トランプ氏が232票を獲得しました。48州は「勝者総取り制度」ですが、メイン州とネブラスカ州は分かれませんでした。

ほとんどの選挙で、一般投票で勝利した大統領候補と選挙人の数で勝利した大統領候補は同じでした。しかし、5回も、選挙人に当選された大統領は一般投票を負けたことがあります。最近の例は、2000年の選挙と2016年の選挙です。2000年に、ゴア氏がブッシュ氏より全国で得票数が多かったのですが、フロリダ州で、ブッシュ氏がたった537票で勝利したので、フロリダ州の選挙人をすべて獲得し、271票で当選されました。また、2016年に、得票数ではクリントン氏がトランプ氏を上回っていましたが、大事な「接戦州」のほか、民主党の地盤とされていた州でもトランプ氏が勝利を重ねた結果、選挙人獲得数ではトランプ氏がクリントン氏を上回り、トランプ氏の勝利が確定しました。

11月の選挙で当選された選挙人団は12月に投票します。事前に、州で勝利した大統領候補に投票することを誓いますが、約束を破る選挙人はたまにいます。2016年に、史上最多となる計10人の「誓

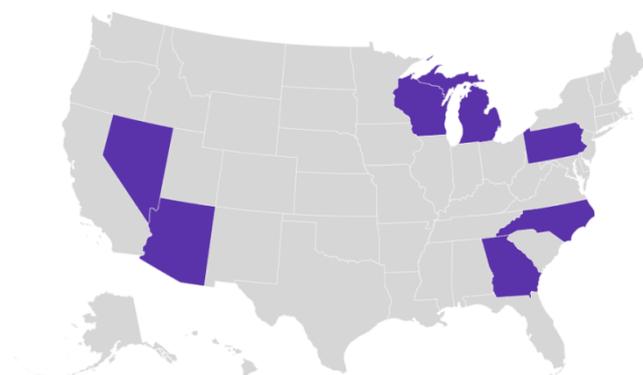
約違反投票」が出ました。出身地のワシントン州では、クリントン氏が勝ちましたが、選挙人12人のうち4人もクリントン氏への投票を拒否しました。「誓約違反投票」をした選挙人に対して、投票を無効にしたり、罰金をとったりする州が多いですが、その投票を許す州もあります。今まで選挙の結果に影響を及ぼすことはありませんでしたが、接戦の場合、結果が変わる可能性がありますね。

Q: 「接戦州」って何ですか？

A: 共和党と民主党の支持率がほぼ同じで、選挙の度に勝利政党が変動する州です。

多くの州は、共和党か民主党か、どちらかの支持者が多く、毎回同じ政党に投票します。例えば、南部と中西部の州が共和党に投票する一方、西海岸と北東の州が民主党に投票します。共和党に投票する州は「レッド・ステート」(赤い州)、民主党に投票する州は「ブルー・ステート」(青い州)と呼ばれています。

接戦州は「スイング・ステート」や「パープル・ステート」とも呼ばれ、どちらの大統領候補も勝つチャンスがあります。結果を予測できる赤い州と青い州よりも、大統領候補は接戦州でいつも一生懸命に自己アピールをしようとしています。「勝者総取り制度」があるので、選挙の結果が接戦州に左右されます。ちなみに、2024年の接戦州は、ネバダ州、アリゾナ州、ウィスコンシン州、ミシガン州、ペンシルベニア州、ノースカロライナ州、ジョージア州の7州です。選挙人の合計で93票なので、接戦州の勝利が不可欠です。



接戦州の地図。

Q: クリスタルは誰に投票しましたか？

A: 公にしません。出身地のワシントン州はブルー・ステートなので、予測してみてください★

お問い合わせ先
 教育部 生涯学習課 国際交流員
 〒067-0074 北海道江別市高砂町 24-6
 Tel:011-381-1049 Fax:011-382-3434